

平成30年5月9日

各 位

中野区保健所長

### 中野区感染症発生動向調査情報集計結果の送付について

中野区の平成30年第17週(4月23日～4月29日)分情報、および第18週(4月30日～5月6日)分情報、東京都・全国情報を下記のとおり送付いたします。中野区分につきましては最新の情報を提供しております。なお、速報性を優先していますので調査結果によっては、後日、情報が訂正されることがあります。

記

#### 1 中野区集計

- ① 全数届出患者数一覧(中野区届出分)
- ② 定点報告疾患集計(中野区届出分)
- 2 東京都感染症情報センター 感染症週報(第16週)、感染症週報(第17週)
- 3 厚生労働省/国立感染症研究所 IDWR感染症週報(第15週・抜粋)

#### 区内定点よりの調査票通信(17週速報)

- ・インフルエンザ簡易検査の結果は、A型4人、B型2人、A型B型同時陽性1人、計7人、定点当たり0.7人でした(小児科および内科インフルエンザ定点の合計)。
- ・感染性胃腸炎1歳女児は保健所の関係者検便で腸管出血性大腸菌検出。家族内感染と思われますが、本人は特に所見はありません(小児科・上鷺宮定点)。

#### 区内定点よりの調査票通信(18週速報)

- ・インフルエンザ簡易検査の結果は、A型4人、B型1人、計5人、定点当たり0.5人でした。

#### コメント

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点報告数はやや多い状態が続いています(第17週は33人、定点当たり5.5人)。

○第17週に、南部地域の保育園から感染性胃腸炎の散発発生報告がありました。1歳児の下痢を初発に翌週から1歳、2歳児に下痢・おう吐の患児が発生し、担当の職員も発症しています。引き続きノロウイルス感染等への注意をお願いいたします。

○第17週に、2類の全数届出として結核が報告されました。患者さんは40歳代の男性(肺結核、および気管支結核、喀痰塗抹陽性)です。

○第17週に、3類の全数届出として腸管出血性大腸菌感染症(O157,VT1VT2陽性)が報告されました。患者さんは1歳女児で、前週に隣接区保健所に届出のあった患者さんのお子さん。関係者(家族)検便により菌陽性となりましたが、経過中全く症状はなく、ホスミンシンドライシロップによる除菌治療を行いました。

○第17週に、5類の全数届出として梅毒が報告されました。患者さんは60歳代の男性(無症状病原体保有者)で、入院時スクリーニングで検査陽性となりました。感染原因、既往等は不明です。

○第17週に、5類の全数届出として百日咳が報告されました。患者さんは5歳女児で、夜間の咳き込みがあり、咽頭スワブからの遺伝子検出により診断されました。

○5月1日より、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)が五類感染症の全数把握疾患に追加され、国立感染症研究所より診断・検査・治療に関する手引きが公表されました。発生届にあたってはこちらをご参照ください。

「急性弛緩性麻痺を認める疾患のサーベイランス・診断・検査・治療に関する手引き」

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/AFP/AFP-guide.pdf>

中野区感染症発生動向調査週報

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/402000/d001703.html>

①-1 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 一類から四類感染症まで

分類	疾病名	14週	15週	16週	17週	18週	2018年 報告数
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう(天然痘)						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	急性灰白髄炎						
	結核	2	2	2	1		28
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群(SARS)						
	中東呼吸器症候群(MERS)						
	鳥インフルエンザ(H5N1)						
鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ						
	細菌性赤痢						
	腸管出血性大腸菌感染症				1		1
	腸チフス						
四類	パラチフス						
	E型肝炎						
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)						
	A型肝炎	1					3
	エキノコックス症						
	黄熱						
	オウム病						
	オムスク出血熱						
	回帰熱						
	キャサヌル森林熱						
	Q熱						
	狂犬病						
	コクシジオイデス症						
	サル痘						
	ジカウイルス感染症						
	重症熱性血小板減少症候群(※注)						
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱						
	つつが虫病						
	デング熱						
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱						
	日本脳炎						
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症						
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
発疹チフス							
ポツリヌス症							
マラリア							
野兔病							
ライム病							
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽							
レジオネラ症							
レプトスピラ症							
ロッキー山紅斑熱							

※注: 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

①-2 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 五類感染症

分類	疾病名	14週	15週	16週	17週	18週	2018年 報告数
五類	アメーバ赤痢						
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)						
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症						
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	—	—	—	—		
	急性脳炎						
	クリプトスポリジウム症						
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						
	後天性免疫不全症候群		1				4
	ジアルジア症						
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						
	侵襲性髄膜炎菌感染症						
	侵襲性肺炎球菌感染症						
	水痘(入院例に限る)						
	先天性風しん症候群						
	梅毒		1		1		6
	播種性クリプトコックス症						
	破傷風						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
百日咳			1	1		3	
風しん							
麻しん							
薬剤耐性アシネトバクター感染症							

② 定点報告疾患集計(中野区分)

定点種別	疾病名	14週	15週	16週	17週	18週	2018年 報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	10	10	23	7	5	3167
小児科	RSウイルス感染症	1	1				14
	咽頭結膜熱		1	1	2		11
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	27	36	33	14	413
	感染性胃腸炎	38	46	78	55	16	780
	水痘	3	3	4	2	4	75
	手足口病			1			9
	伝染性紅斑				2	4	19
	突発性発疹	5	3	2	5	2	69
	ヘルパンギーナ						1
	流行性耳下腺炎		1	2	2	3	23
	不明発疹症				1		5
	MCLS(川崎病)						2
眼科	急性出血性結膜炎						
	流行性角結膜炎		2		2	1	10
基幹	細菌性髄膜炎						
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎						
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(※注)						

※注:病原体がロタウイルスであるものに限る。

中野区の定点

インフルエンザ定点数	10	10	10	10	10	10
小児科定点数	6	6	6	6	6	6
眼科定点数	1	1	1	1	1	1
基幹病院定点数	0	0	0	0	0	0
性感染症(STI)定点 [月報]	2	2	2	2	2	2